

■“フィールドワーク”として、地域の小学5年生が「砂防事業」について学習 (地元の災害や危機管理対応、具体の対策等について学習の要望がありました)

仙北市の生保内小学校の5年生が砂防事業について学習

- ・八幡平山系の砂防事業は、平成2年度から国直轄砂防事業として土砂災害対策を行っている
- ・火山災害に関する現在の状況や具体の非難対応等、踏み込んだ質問が寄せられました
- ・また、平成25年に発生した供養物沢の土石流についても、様々な質問が出されました

- ◇ 開催日： H29.10.30 (月)
- ◇ 参加者： 生保内小学校の5年生
児童19名+引率1名が参加
- ◇ 主催： 湯沢河川国道事務所
- ◇ 内容等： アルパこまくさ内の秋田駒ヶ岳火山砂防センターを見学
火山砂防や土砂災害への対応等、様々な視点から質問が出され、勉強しました

《アルパこまくさ内の秋田駒ヶ岳山系砂防事業等を見学したときの状況》



▲秋田駒ヶ岳火山砂防事業について学習



▲秋田駒ヶ岳火山砂防事業について学習



▲供養佛沢土石流現場と砂防堰堤